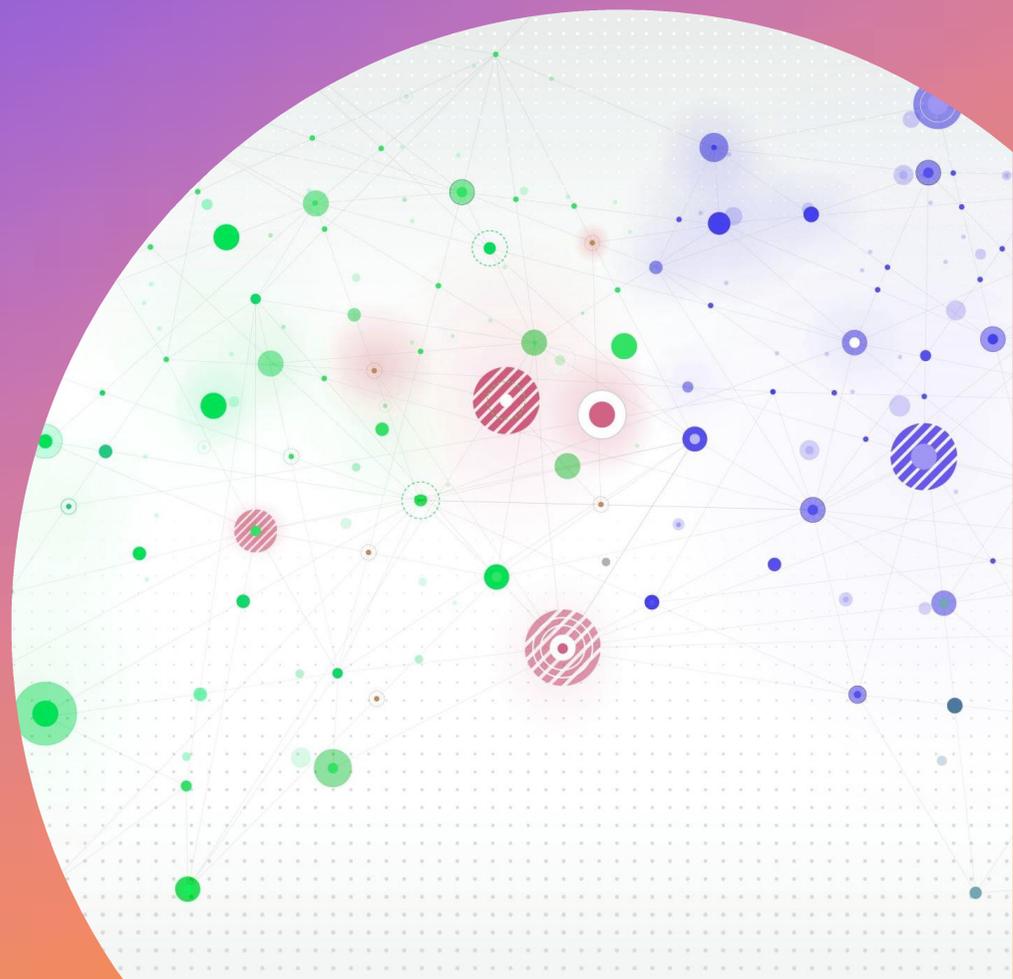


+
○

26春闘を共に 闘おう

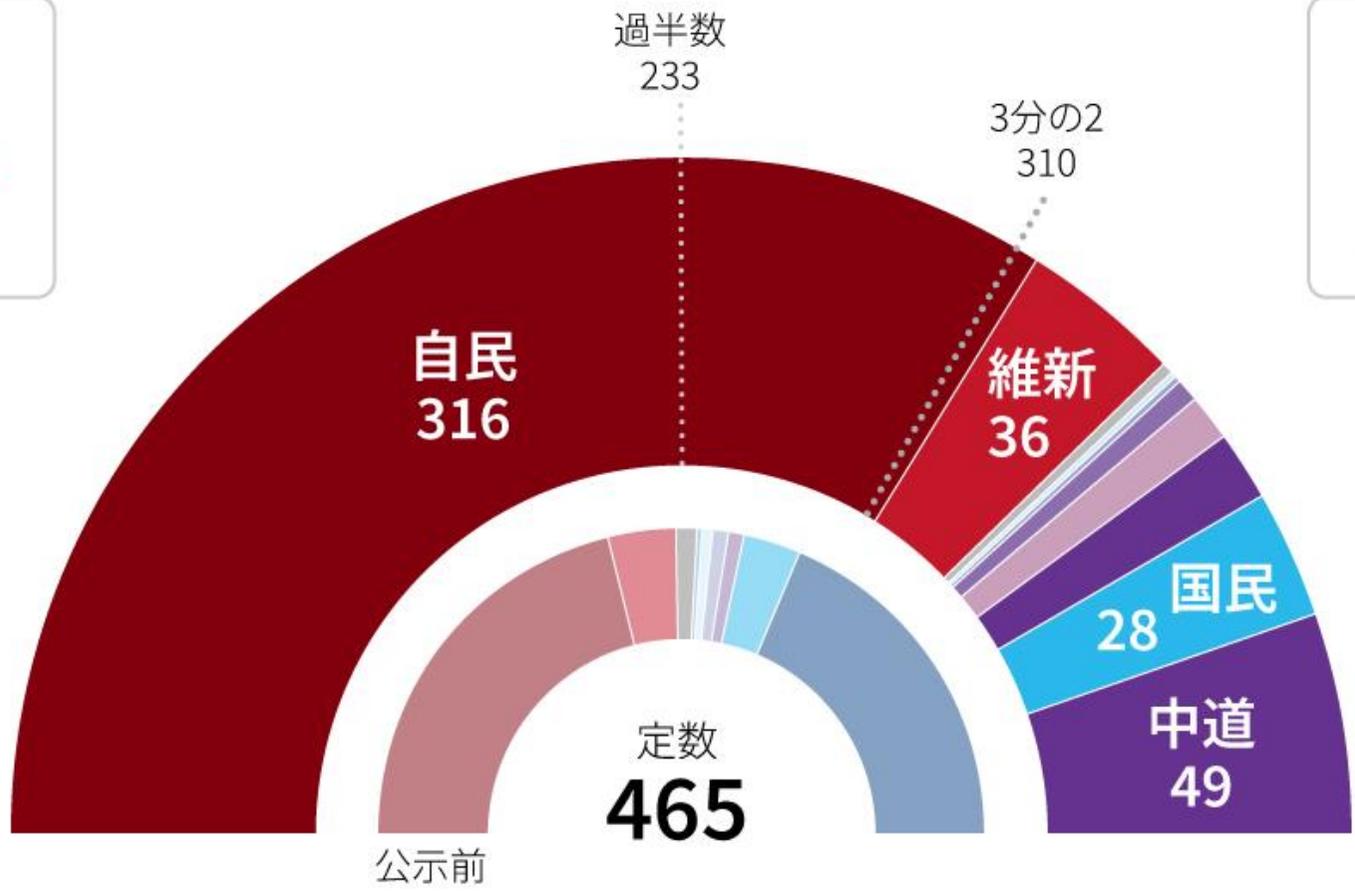
2026年3月1日拡大執行委員会 & 春
闘討論集会への提起
西宮市立勤労会館



第51回衆議院議員選挙の 結果について

与党
352 議席
公示前から+120席

野党
113 議席
公示前から-109席



自民
316

維新
36

中道
49

国民
28

参政
15

みらい
11

共産
4

れいわ
1

減ゆ
1

無所属
4

一党で改憲発議が可能な3分の2の議席を占めるのは戦後初めてのこと

この結果により

- ・ 改憲発議
- ・ 参議院で否決された法案も、衆議院で再可決

が可能となった。

- ・ 自民党、日本維新の会の与党独裁体制が確立。

「新たな戦前」の現実化。

日本国憲法第9条

- 第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



自民党改憲草案(2005年10月28日発表)

九条 (平和主義) 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

九条の二 (自衛軍) 我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮権者とする自衛軍を保持する。

2 自衛軍は、前項の規定による任務を遂行するための活動を行うにつき、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

3 自衛軍は、一項の規定による任務を遂行するための活動のほか、法律の定めるところにより、国際社会の平和と安全を確保するために国際的に協調して行われる活動及び緊急事態における公の秩序を維持し、または国民の生命もしくは自由を守るための活動を行うことができる。

4 前二項に定めるもののほか、自衛軍の組織及び統制に関する事項は、法律で定める。

自衛軍(戦力)の保持を明記、「国の交戦権はこれを認めない」を削除



非核三原則

- 持たず：核兵器を保有しないこと。
- 作らず：核兵器を製造しないこと。
- 持ち込ませず：核兵器を日本国内に持ち込ませないこと。

高市政権による「非核三原則」の見直しに抗議

- 核兵器を持たず、作らず、持ち込ませずという「非核三原則」について、高市早苗首相が堅持を明言せず、自民党が見直しについて検討する方向で最終調整している。これに対し、被爆地からは怒りや懸念の声が相次いでいる。右の写真は長崎の被爆者4団体（長崎原爆被災者協議会、長崎原爆遺族会、長崎県被爆者手帳友の会、長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会）による記者会見。



九州・南西諸島の軍事要塞化①



佐賀駐屯地 にオスプレイ 配備



南西諸島、止まらぬ軍事化

12式地対艦ミサイル
陸上から艦艇を攻撃する。現在の射程は百数十kmとされる。射程1000km程度まで延ばし、航空機や艦艇からも発射できる能力向上型を開発し、相手国領域内の攻撃にも使う計画



馬毛島 (建設中)

- 米軍艦載機訓練用の滑走路
- 水陸両用作戦の訓練施設
- 補給拠点

東京都の小笠原諸島・硫黄島で実施してきた米軍空母艦載機の発着訓練を移転するため、滑走路を整備する。自衛隊の訓練や補給機能も備えた南西諸島の重要拠点となる

南西諸島への自衛隊配備の経過

- 1972年 10月 陸自那覇駐屯地開設、空自那覇基地開庁
- 12月 那覇基地に海自哨戒機配備、空自宮古島分屯基地発足
- 1973年 1月 那覇基地の空自戦闘機による対領空侵犯措置開始
- 2010年 3月 那覇駐屯地を拠点とする第1混成団を第15旅団に格上げ
- 12年9月 日本政府が尖閣諸島国有化
- 12月 中国機が尖閣付近で日本領空を初めて侵犯
- 16年1月 空自那覇基地のF15戦闘機を約40機態勢に増強
- 3月 陸自与那国駐屯地開設
- 12月 中国軍の空母「遼寧」が、沖縄本島と宮古島の間を初めて通過
- 17年7月 空自南西航空混成団を、南西航空方面隊に格上げ
- 18年1月 中国軍の艦艇と潜水艦が尖閣周辺の接続水域航行
- 19年3月 陸自奄美駐屯地、宮古島駐屯地開設
- 20年3月 宮古島駐屯地にミサイル部隊配備
- 23年1月 馬毛島の自衛隊基地着工
- 3月 陸自石垣島駐屯地開設

与那国島 (2016年3月駐屯地開設)

- 陸 沿岸監視隊
- 電子戦部隊 (予定)
- 地対空ミサイル (予定)
- 空 移動式レーダー



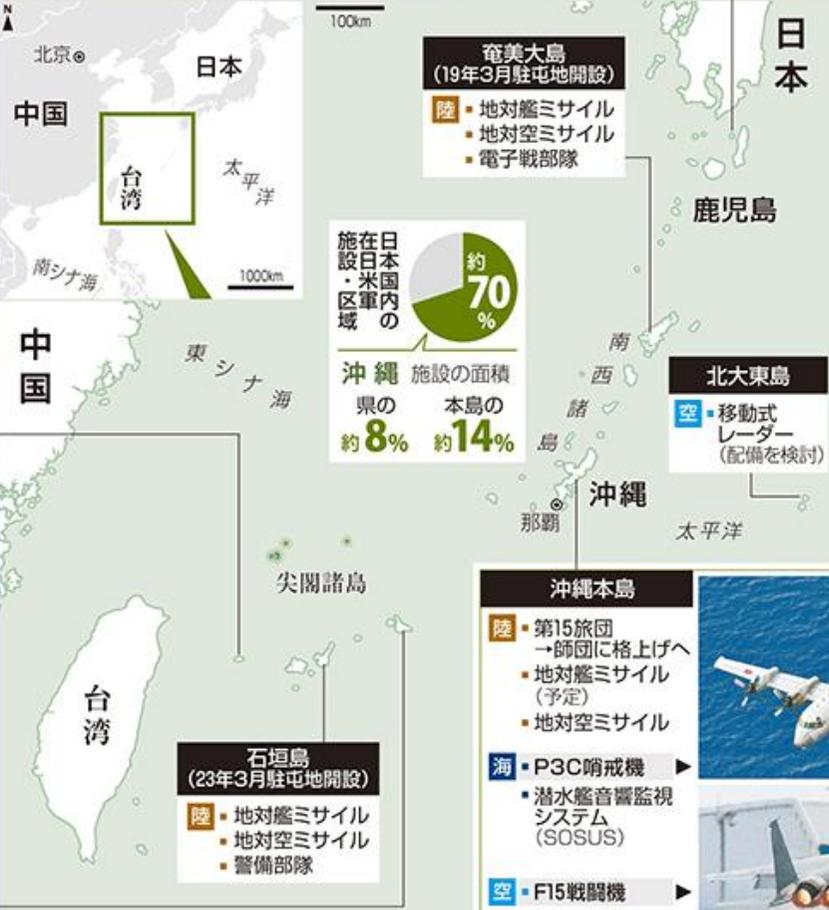
与那国駐屯地
日本最西端の駐屯地。沿岸監視隊が、航空機や艦艇の情報を収集している。ミサイルや戦闘機を攻撃するための地対空ミサイル配備が予定されている

宮古島 (19年3月陸自駐屯地開設)

- 陸 地対艦ミサイル
- 地対空ミサイル
- 警備部隊
- 空 警戒管制レーダー



宮古島の警戒管制レーダー
早期警戒機と連携し、航空機の動きを捉える。領空侵犯の恐れがある場合には、戦闘機がスクランブルして対応する



主な部隊・施設

九州・南西諸島の軍事要塞化②



南西諸島周辺の警戒監視や情報収集に当たる。潜水艦の位置を探り出す能力に優れる



空自の主力戦闘機で、外国機に対領空侵犯措置＝緊急発進 (スクランブル) 任務の中軸を担う。愛称は「イーグル」

与那国駐屯地にミサイル部隊を配置

- 小泉進次郎防衛相は2月24日の閣議後会見で、敵の航空機や巡航ミサイルを迎え撃つ「03式中距離地对空誘導弾」（中SAM）の部隊を陸上自衛隊与那国駐屯地（沖縄県与那国町）に2030年度に配備する計画であることを明らかにした。



労働法制の改悪に反対し
よう！

デロゲーションについて

「デロゲーション」の拡大は、労働基準法の空文化、少数派労働組合の権利否定に直結する。

デロゲーションとは？

労働者代表と使用者が合意すれば
法規制の適用除外を認める



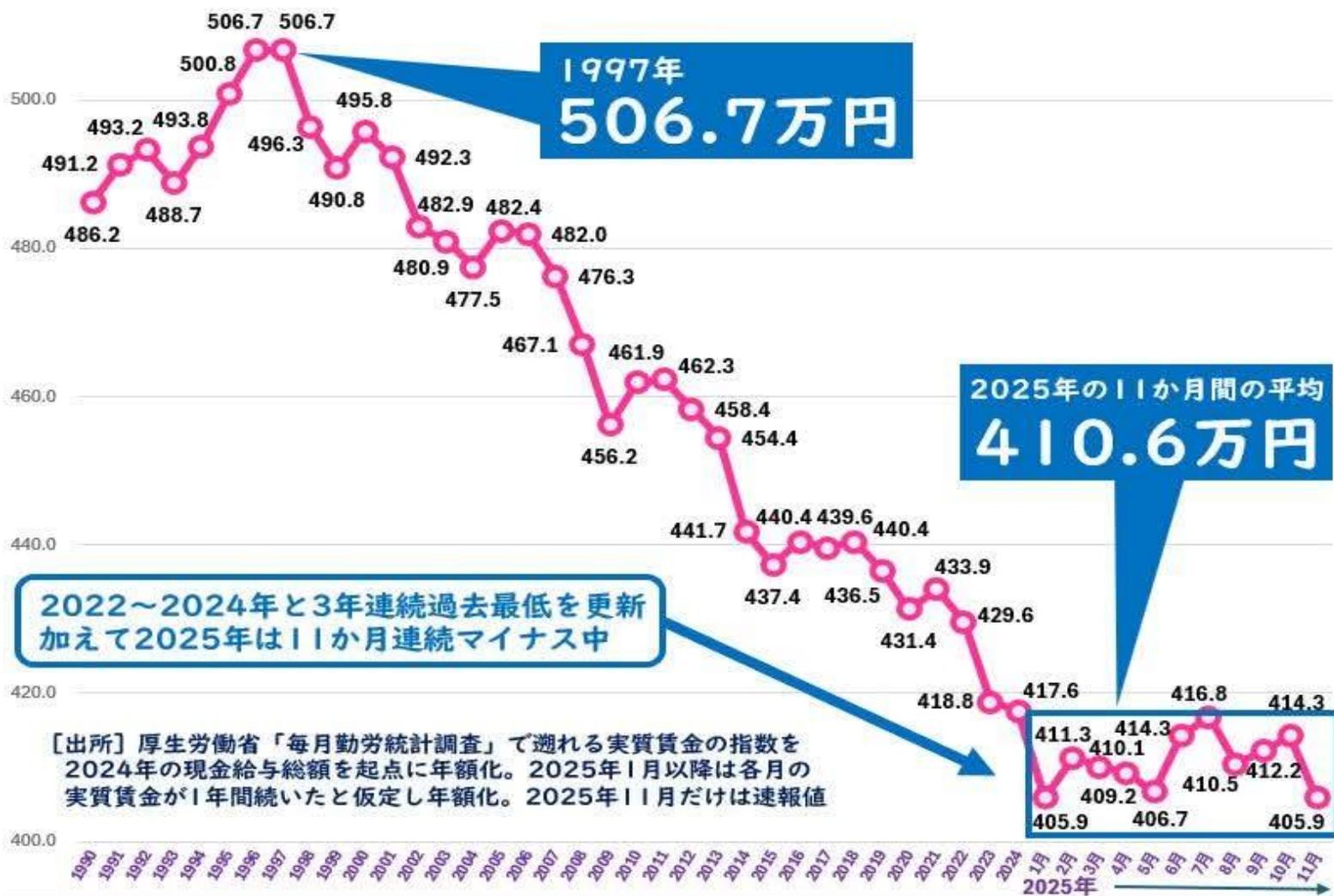
にもかかわらず
使用者が指名することさえ
できる労働者代表との間で
「デロゲーション」
できるようになれば
問題が起きることは
明らかだね

労働法は、
**労働者と使用者の
力関係が非対等だから
存在しているんだね**



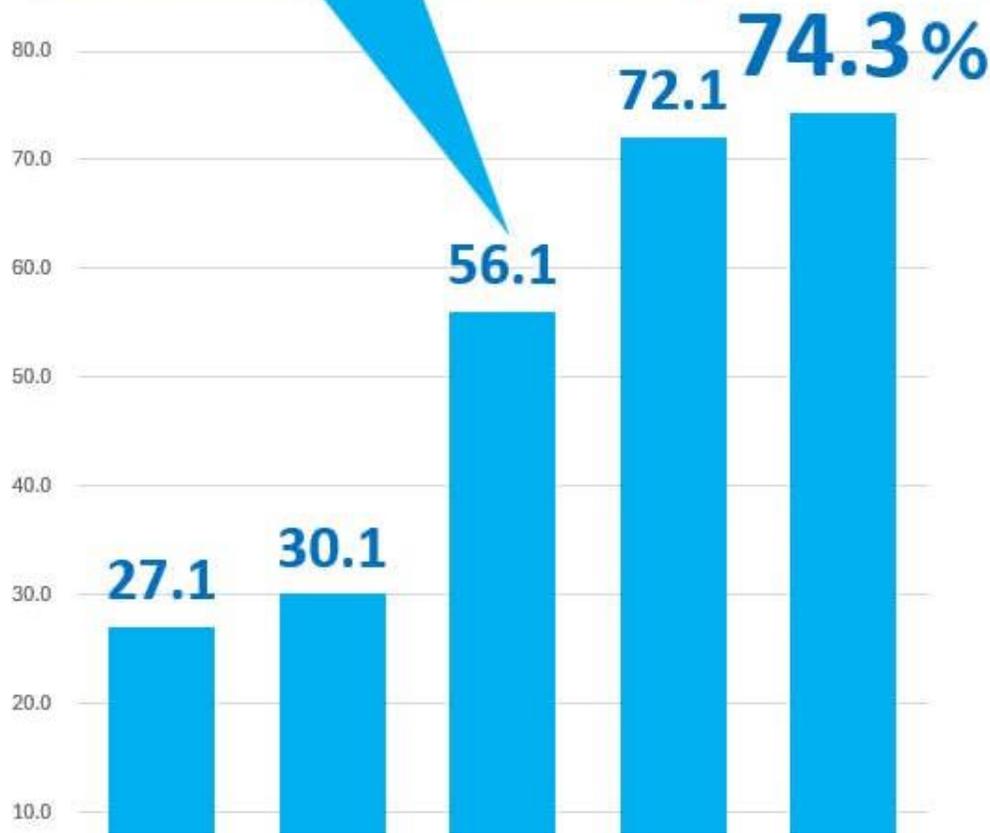
労働者の実質賃金の現状

2025年の賃金 35年間で最低 **実質賃金11か月連続マイナス**
28年間で年96万円も賃下げ



「暮らし苦しい」が初めて50%上回る

「物価高騰による生活費増」
を生活苦の理由と答えた割合



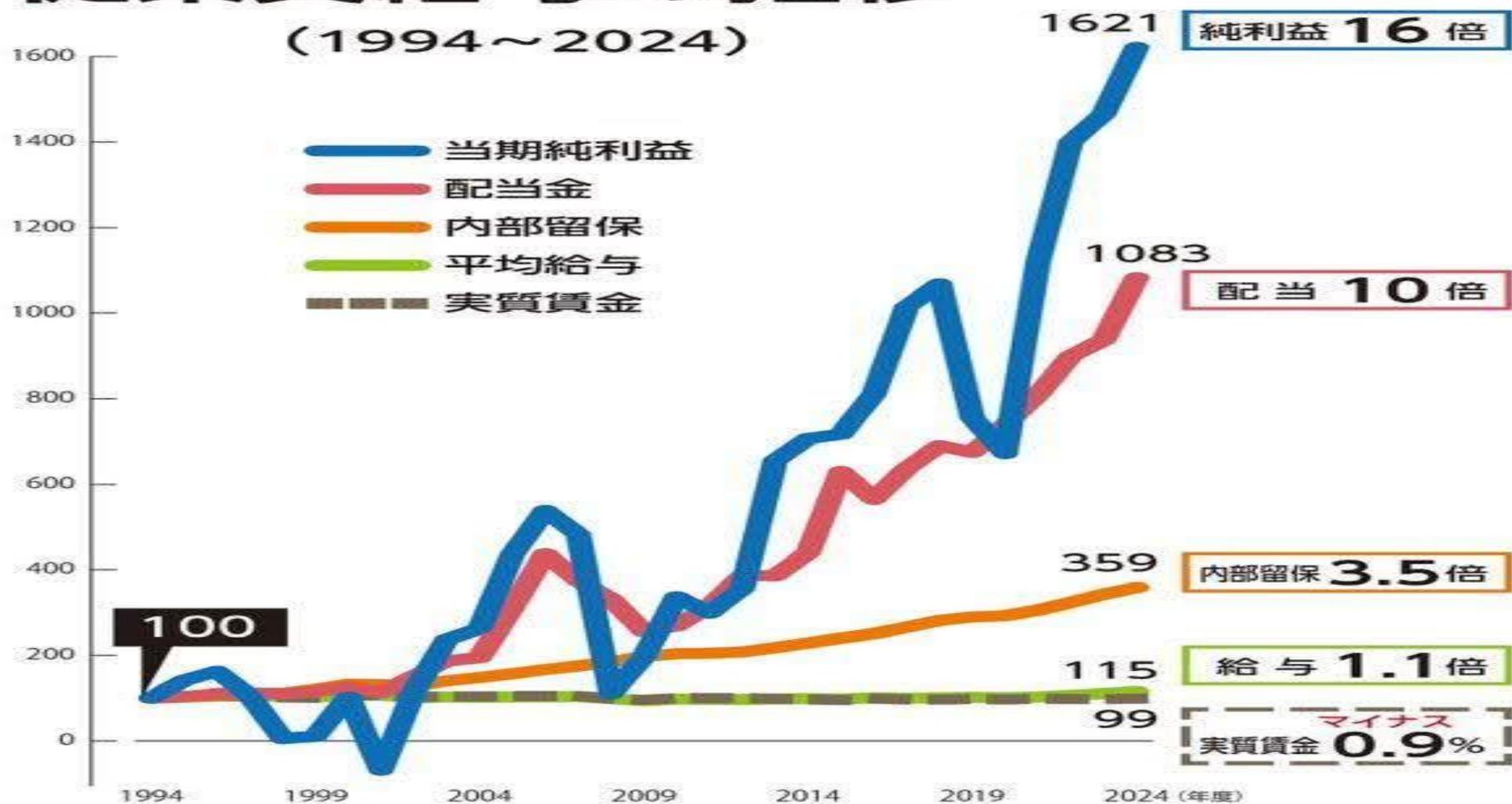
「暮らしが苦しくなった」
(前年比較の暮らしむき)



[出所] 東京都「都民生活に
関する世論調査」2025年度

大企業の純利益・配当と従業員給与の推移

(1994~2024)



+ . 労働者・市民はこの現状
○ に怒り、立ち上がり始め
ている。

防衛省が陸上自衛隊健軍駐屯地（熊本市）に初の国産長射程ミサイルを配備する計画を巡り、反対する市民団体の呼びかけに応じた約1200人が2月23日、駐屯地前で手をつなぐ「人間の鎖」をつくった。「武力で平和はつukれない」などと声を上げ、計画中止や住民説明会開催を求めた。



「敵基地攻撃」熊本市街地に初

2025～27年度に配備される 国産スタンド・オフ・ミサイル

配備時期	配備先
25年度	① 健軍駐屯地(熊本) ② 富士駐屯地(静岡)
26年度	③ 上富良野駐屯地(北海道) ④ えびの駐屯地(宮崎)
27年度	⑤ 百里基地(茨城) ⑥ 護衛艦「てるづき」 ⑦ 富士駐屯地



説明会なく 住民ら1200人「平和の輪」で抗議

用語解説
「敵基地攻撃」を攻撃できるミサイル。熊本市の健軍駐屯地に配備される国産の「12式地对艦誘導弾」は射程約千キロ超とされ、射程圏内には中国の沿岸部も含まれる。防衛省は「抑止力と対処力の要」として配備を急いでいる。



熊本・陸自健軍駐屯地の周囲を囲み、住民説明会の開催などを訴える住民ら23日、熊本市で

「説明会を開け」「敵を呼び込む、サイイルいらない」駐屯地前の歩道を埋めた住民らは、声をからして訴えた。地域住民には、戦後長く「自衛隊と共存してきた」(労働組合関係者)という思

いもあり胸中は複雑だ。それでも、抗議活動を企画した団体代表の山下雅彦(東海大名誉教授)は「多くの人から心配や怖さを感じていると改めて感じた」と話した。

配備計画が明らかになったのは昨年8月。来月までの陸自健軍、富士(静岡)小山(町)両駐屯地を皮切りに、2年ほどかけて航空自衛隊百里基地(茨城県小美玉市)など全国6カ所に展開する

の一方の決定に健軍駐屯地周辺の住民は戸惑い、丁寧な説明を求めてきたが、自民党会派が約4分の3を占める熊本県議会は昨年12月に住民説明会開催の請願を不採択とした。地元の家院熊本1区選出の木原稔官房長官も「実施する予定はない」と明言。

県も「住民への説明は求めているが、その手法は国の判断だ」と及び腰だ。

市街地に位置する駐屯地の目と鼻の先には市民病院があり、半径2キロの範囲に小中学校約20校が集中する。政府はミサイル配備の目的を「抑止力を得ることだが国への攻

撃そのものの可能性を低下させるため」と主張するが、地元で核廃絶運動に取り組む「熊本被爆二世・三世の会」会長の青木栄二(64)は「もし攻めてきたらどうなるかが全く想定されていない」と憤り、背景を推測する。「説明すればほころぎが出ると思っていないではないか、秋田での失敗を教訓に、もう説明しない」と決めている気がする。

青木さんが言及した「秋田での失敗」とは、2020年に秋田、山口両県への地上配備型迎撃システム「アショア」配備が断念に迫り、中止された経緯だ。当時の安倍政権は現地で地元説明会を重ねたが、秋田市の新屋演習場を候補地に選んだ根拠とした地形調査の不足が批判。説明に出席した防衛省職員が居眠りするなど、不誠実な態度が住民の怒りを買い、計画の撤回につながった。

今回のミサイル配備は、住民説明の手順を踏まず、不安や懸念を置き去りにしたまま既成事実が進む。23日の「平和の輪」に企画段階から関わった地元在住の熊本光男さん(66)は「現実的には配備を中止させるには厳しいだろう」と受け止める一方、健軍への弾薬庫増強の動きを警戒し、説明会の開催を「引き続き求める」と明言した。

住民無視のミサイル配備

手をつないで「平和の輪」をつくる参加者ら23日、熊本市街区



長射程ミサイルいららない

熊本・健軍 人間の鎖に1200人

「このまちにもミサイルいらぬ」。陸上自衛隊健軍駐屯地(熊本市)への長射程ミサイル配備・弾薬庫新設計画に抗議しようと、駐屯地周辺を人間の鎖でつなぐ集会在23日、開催され、約1200人の参加者が手に手を取って「平和の輪」をつなぎました。日本共産党の白川容子参院議員と地方議員団・候補者らが参加しました。

主催した「ストップ！長射程ミサイル・県民の会」の山下雅彦代表(東海大名誉教授)は、住民説明会を拒否し憲法違反の長射程ミサイル配備を強行する国を批判。「配備は命に関わ

る問題で見逃すわけにはいかない。高市政権のもとで厳しさの増すなか、みんなの手をつないで次に歩を進めたい」と訴えました。

集会には九州・沖縄8県のほか、東京、京都、大阪、愛知、愛媛、高知、広島各都府県から、現地の弾薬庫整備に反対する市民らが結集。「ピースリンク広島・呉・岩国」の新田秀樹さん(62)は「呉でもトマホーク配備や日鉄跡地の軍事利用が取り沙汰されており、日よそこでは全くない。日本がミサイル大国になる。その第一歩が狙われる熊本で声を上げよう」とみんなで駆けつけました」と話しま

した。熊本県の人吉・球磨地域からバスや車に乗り合わせた20人余で駆けつけた本村久美子さん(68)は「大軍拡・大増税反対。戦争の準備は止めて平和の準備はせなやか」と強調しました。

地元からは不安の声が。健軍地域に住む医療従事者の久保田千穂さん(54)は「もしこの地域が攻撃されたら人がたくさん出ますし、そこで医療活動しなければならぬ。医療関係者もどうなるかから怖いです」と話しました。

パレードに足を止めた買い物婦りの男性(70)は駐屯地から300メートルの場所に在住。「自衛隊に悪い印象はないが配備には反対。他国から攻撃されたらわが家も危ない」と語りました。

左上、関西合同労働組合第32回定期大会での「団結がんばろう」右下、2月9日春闘行動、左下、関西合同労働組合摂津分会要求書提出行動。右上、武庫川ユニオン摂津分会要求書提出行動。



非正規春闘・賃上げホットライン



<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2441370>

<https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10015041721000>

関西でも非正規春闘が闘われている。

+



2月26日大阪・戎橋での
ガザ反戦スタンディング

